

# ラジウム原器国際委員会

## 証明書

ラジウム試料第8号は、ヨアヒムシュタールのピッチブレンドから塩化物として調製され、事実上メソトリウムは含まれていない。

ラジウム塩 10.26mg を含有する。

1913年7月1日、厚さ 0.27mm、外径 3.2mm、長さ 23mm のガラス管 (チューリングゲンガラス) 内に封入され、一端に細い白金線が融着されている。

副原器として、複数の  $\gamma$  線法により、ウィーン原器およびパリの国際原器に対して独立に較正された。

$\gamma$  線法による計測で、1913年において塩化ラジウム 9.80mg (年間壊変は約 0.4/1000) を含有する。

原子量を下記とする場合、

ラジウム	226
塩素	35.457
臭素	79.916

これは以下に相当する。

ラジウム	7.46mg
塩化ラジウム	9.20mg
臭化ラジウム	12.74mg

これらの精度は 0.2% と考えられる。

ウィーンでの計測担当 Stefan Meyer

パリでの計測担当 M. Curie

委員長 E. Rutherford

